

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年4月19日

2005年4月17日概況：

4月17日に終わる週に全州に有効な降雨があった。所により雷雨となった。気温は多少平年を下回った。NE地区に於ける1週間の降水量は0.15～0.38インチ、NW地区では0.39～0.87インチであった。最も土壌水分が欠乏していたSE地区では0.55～0.65インチを記録した。NC及びNE地区では圃場整備開始まで未だ土壌の乾燥と温度の上昇が必要であった。

州平均の圃場作業開始時期は多少早まり4月14日と昨年と同時期の予想となった。SE地区では4月6日、NC地区では4月21日の開始と予想された。

HRSは11%の圃場にて播種され、Durum小麦は6%が播種された。昨年より多少遅い進捗であるが、5年平均より早い進捗である。

小麦生育状況：2005年4月17日現在

Planted	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum W. (%)	6	1	7	2
HRS W. (%)	11	3	17	8

2005年3月31日の農務省の予想では、ノースダコタ州の2005年産HRSの作付面積予想は、6,900,000エーカーであり、昨年(6,200,000エーカー)の11%増であった。Durumの作付予想は1,850,000エーカー(昨年：1,750,000エーカー)であった。

全米の春小麦の作付けは、昨年比で増加傾向である。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com